



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 憲史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤原 和雄

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,120	2.8	1,246	4.3	1,218	8.9	709	153.5
23年3月期第2四半期	16,658	3.4	1,195	△10.3	1,119	△8.8	279	△61.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,502百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 336百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	23.38	—
23年3月期第2四半期	9.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,539	36,517	47.5
23年3月期	76,271	35,228	46.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 36,346百万円 23年3月期 35,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,200	1.7	2,400	3.5	2,300	3.5	1,250	30.5	41.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	30,360,000 株	23年3月期	30,360,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	11,856 株	23年3月期	11,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	30,348,147 株	23年3月期2Q	30,348,159 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みに持ち直しの動きが見られた一方、欧州の金融不安や米国経済の停滞懸念などにより海外経済の回復力が弱含むなか、国内では原子力災害に伴う復興の遅れや電力供給の制約に加え、急激な円高の進行、デフレの影響および雇用情勢の悪化懸念などが依然として残っており、先行きの不透明感が払拭できない状況が続きました。

倉庫物流業界では在庫高は安定せず保管残高も前年同期を下回る水準が続き、また不動産業界ではオフィス空室率の改善が進まないなど、業界を取り巻く事業環境も厳しい状態で推移しました。

このような環境の中で当社グループは、物流事業ではお客様の物流アウトソーシングニーズを積極的に開拓する営業を展開し収益増加に努め、不動産事業では既存施設の稼働率維持に努めました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下に記載のとおり、物流事業が前年同期比で増収増益となった一方、不動産事業は前年同期比で減収減益となりましたが、営業収益は前年同期比461百万円増

（2.8%増）の17,120百万円、営業利益は前年同期比50百万円増（4.3%増）の1,246百万円、経常利益は前年同期比99百万円増（8.9%増）の1,218百万円、四半期純利益は特別損失が減少したことにより、前年同期比429百万円増（153.5%増）の709百万円となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

物流事業では、輸出入取扱の増加や倉庫における荷動きが全般的に好調に推移したことにより国際貨物取扱料や倉庫作業料を中心に増収増益となりました。その結果、物流事業の営業収益は前年同期比608百万円増（4.4%増）の14,530百万円、セグメント利益は前年同期比101百万円増（9.4%増）の1,183百万円となりました。

不動産事業では、賃料水準や一部施設の稼働率の低下等により賃貸料収益が減少しました。その結果、不動産事業の営業収益は前年同期比154百万円減（5.2%減）の2,796百万円、セグメント利益は前年同期比95百万円減（8.6%減）の1,020百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、投資額を上回る減価償却費により有形・無形固定資産は減少しましたが、投資有価証券の時価評価が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ267百万円増の76,539百万円となりました。

負債については、主に長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ1,021百万円減の40,021百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ1,289百万円増の36,517百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント増の47.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ41百万円増の2,868百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保等により1,717百万円の資金増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により101百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の減少により1,576百万円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね期首予想（平成23年5月11日発表の予想数値）に沿って推移しております。従って、連結業績予想については変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847	2,888
受取手形及び営業未収金	4,189	4,306
繰延税金資産	320	308
その他	290	297
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	7,644	7,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,513	29,658
機械装置及び運搬具（純額）	560	490
工具、器具及び備品（純額）	557	518
土地	20,029	20,029
建設仮勘定	6	5
有形固定資産合計	51,667	50,702
無形固定資産		
借地権	737	737
その他	493	365
無形固定資産合計	1,231	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	13,725	14,899
繰延税金資産	530	528
その他	1,495	1,530
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	15,728	16,936
固定資産合計	68,627	68,742
資産合計	76,271	76,539
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,942	1,846
短期借入金	4,470	4,562
1年内返済予定の長期借入金	7,235	7,169
未払法人税等	416	431
未払費用	761	778
その他	901	790
流動負債合計	15,727	15,578
固定負債		
長期借入金	15,040	13,655
繰延税金負債	4,190	4,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
退職給付引当金	1,578	1,600
長期預り敷金保証金	3,934	3,932
その他	572	541
固定負債合計	25,316	24,442
負債合計	41,043	40,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,790	2,790
利益剰余金	22,781	23,278
自己株式	△5	△5
株主資本合計	29,168	29,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,918	6,701
為替換算調整勘定	△21	△20
その他の包括利益累計額合計	5,896	6,680
少数株主持分	163	170
純資産合計	35,228	36,517
負債純資産合計	76,271	76,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益		
保管料	2,776	2,826
倉庫作業料	2,602	2,813
陸運料	4,070	4,131
国際貨物取扱料	2,792	3,145
物流賃貸料	768	784
不動産賃貸料	2,322	2,183
その他	1,325	1,236
営業収益	16,658	17,120
営業原価		
作業費	6,921	7,374
人件費	2,732	2,788
賃借料	809	859
租税公課	431	433
減価償却費	1,149	1,086
その他	2,062	2,013
営業原価	14,107	14,554
営業総利益	2,551	2,565
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	668	657
福利厚生費	83	81
退職給付費用	23	23
減価償却費	151	148
支払手数料	173	163
租税公課	26	27
その他	228	215
販売費及び一般管理費合計	1,356	1,319
営業利益	1,195	1,246
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	91	140
雑収入	34	18
営業外収益合計	126	160
営業外費用		
支払利息	200	185
雑支出	2	1
営業外費用合計	202	187
経常利益	1,119	1,218

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	40	19
投資有価証券評価損	285	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	—
特別損失合計	425	19
税金等調整前四半期純利益	694	1,204
法人税、住民税及び事業税	398	473
法人税等調整額	4	13
法人税等合計	402	486
少数株主損益調整前四半期純利益	292	717
少数株主利益	12	7
四半期純利益	279	709

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292	717
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	48	783
為替換算調整勘定	△4	1
その他の包括利益合計	44	785
四半期包括利益	336	1,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	1,494
少数株主に係る四半期包括利益	11	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	694	1,204
減価償却費	1,301	1,234
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	22
受取利息及び受取配当金	△92	△141
支払利息	200	185
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産廃棄損	40	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	285	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△39	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	25	△94
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△156	△2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	—
その他	△124	△86
小計	2,203	2,222
利息及び配当金の受取額	92	141
利息の支払額	△202	△187
法人税等の支払額	△591	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,501	1,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△319	△170
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△45	△51
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	136
その他	7	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100	1,110
短期借入金の返済による支出	△1,080	△1,018
長期借入れによる収入	3,000	2,300
長期借入金の返済による支出	△3,613	△3,751
配当金の支払額	△213	△212
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△810	△1,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	330	41
現金及び現金同等物の期首残高	2,659	2,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,990	2,868

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	13,915	2,742	16,658	—	16,658
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	208	215	△215	—
計	13,922	2,951	16,873	△215	16,658
セグメント利益	1,082	1,116	2,198	△1,003	1,195

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間(百万円)
セグメント間取引消去	△17
全社費用※	△985
合計	△1,003

※全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	14,522	2,597	17,120	—	17,120
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8	198	207	△207	—
計	14,530	2,796	17,327	△207	17,120
セグメント利益	1,183	1,020	2,204	△958	1,246

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間(百万円)
セグメント間取引消去	△11
全社費用※	△946
合計	△958

※全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。